

## ■上州山歩き



### 本白根山 (2,171m) 草津町

車は白根レストハウスの駐車場 (500円) を利用する。登山口からすぐに道が分かれる。

左は逢ノ峰を經由して山頂駅へ行く道だが、今回は右の車道から山頂駅へ向かう。いよいよ登山開始だ。スキー場のリフト沿いに登るとすぐに樹林帯となる。緩やかな登りだ。登山道沿いの樹木には樹名板が取り付けられている。

樹林を抜け出ると景色が一変し、旧火口跡の雄大な眺めが視界に飛び込んでくる。火口跡を眺めながら歩く。右手の急峻なガレ場には地元中学生やボランティアにより植えられたコマクサがけなげに根付いている。約半周で分岐点だ。右折すれば本白根山の三角点だが、道なりに左へ行く。わずかで本白根山展望所 (標高2,150m) だ。登山道中の最高点である。

下山はそのまま鏡池へ向かう。途中コマクサが赤く可憐な花を咲かせていた。

そのまま下るとロープウェイ山頂駅だ。

ここからは登りで割愛した逢ノ峰をめざして木製階段を登る。わずかだが辛いところだ。

これを抜けると逢ノ峰展望台だ。ここからは湯釜の背後にゆったりと横手山、真下には弓池が太陽に輝いている。素晴らしい展望だ。

駐車場も眼下に見え、あとわずかである。

弓池を散策してから車に戻ろう。

帰りは草津の湯でゆっくり疲れを癒そう。

(株)小泉農園・小泉 俊夫



#### ■コースタイム (目安)

白根バス停… (15分) …ロープウェイ山頂駅… (50分)  
 …旧火口跡… (30分) …本白根山展望所… (60分)  
 …ロープウェイ山頂駅… (20分) …逢ノ峰展望台… (10分)  
 …白根バス停

調査日23年9月11日

## ■町の庭師の手帳より

Title

### 施主の話は聞かない

Memo

お庭の作庭のデザインや施工に入る時に施主様の話を聞かないなんてことを言ったら誤解を招いて怒られそうだが、そうではなく施主様の要望はすべて受け入れないと言った方が的確かもしれない。施主様のご要望に出来るだけ応えてやりたいのは誰も同じ考えだと思うが、その希望が正しいことなのか。判断は難しいと思うが、請けて負けている（請負業者）にとっては、それは間違った選択であると施主様には、なかなか言いづらい。

しかながら施主様のお話を図面化するだけでは、プロとしてはいささか疑問に思うのは私だけではないはずだ。

例えばそのままでは将来的に美しいお庭にならないとかメンテナンスのことだとか、つまりプロとしてどんな形が良いか見極めて正しい提案をするのが本来の姿であるには間違いないことだと思うのである。

ただしどんな素敵で洗練されたデザインを考えても、施主様が納得し工事の契約に至らないのであれば何も意味のない独りよがりのデザイン設計ということになってしまう。

正しい判断のもとに施主様を納得させる的確な説明やプレゼンテーション能力が庭師にも必要な訳である。

結果そのことが施主様が美しいお庭を手に入れることになるのだとすれば、我々庭師はお庭を施工する以前の段階の部分も多いに勉強しなければならぬ。

人生一生勉強と良く聞くが、考えれば考えるほど勉強しなければならないことが次から次とある。忙しさを理由に疎かになっている自分に言い聞かせる良いきっかけになればとこんな独り言をつぶやいてみました。

(株)山田植物園・山田 進

## ■事務局だより

昨年4月より、斉藤昌之氏の後任として事務局長の重責を担うことになりました。厳しい経済状況ではありますが、皆様のご協力をよろしくお願いします。

昨年3月に発生した、東日本大震災と福島県の原子力発電所の事故により、本県でも被災住民の避難、農作物への風評被害等経済的な影響も計り知れないが、造園業界に影響を与えるものとして、腐葉土、除草、樹木剪定枝のセシウム汚染等が考えられるので協会としてもその対策を考える必要があります。

経済面では、少子化による国内市場の縮小、海外景気の不況、株価の変動等による影響も大きいと考えられるが、このような時代こそ個々の技術力、企業としての能力の特化を図る必要があります。特に造園技能士、街路樹剪定士や植栽基盤士等については、他県では公共工事発注にあたり仕様書等に資格所有者の常駐等が義務付けられる傾向にあります。

本県では現在義務付けられてはいませんが、協会として『造園に関する有資格者の制度化』について群馬県等に要望もしていることであり、協会員は対応を図っていく必要がある。

事務局として、積極的な情報収集と共に、会員企業と一体となって造園緑化事業の普及、啓発に努力したいと考えておりますので会員各位のご協力をお願い致します。

(事務局長 小池 昌男)

## ■編集後記

昨年は、東日本大震災の影響を色濃く反映し、節電や被災地支援につながる消費者ニーズに対応した商品サービスが増えました。深刻な電力不足への懸念を背景に、LEDやエアコン等省エネ家電の他、つる性の植物を使った緑のカーテンなどの商品も増えました。

今年は、役員の改選などで新体制での出発です。協会員力を合わせて行きたいです。

(株)八木造園・岩崎 重雄

